

令和4年度東京善意銀行

福祉施設が希望する寄附等内容アンケート 調査結果報告

東京善意銀行の事業

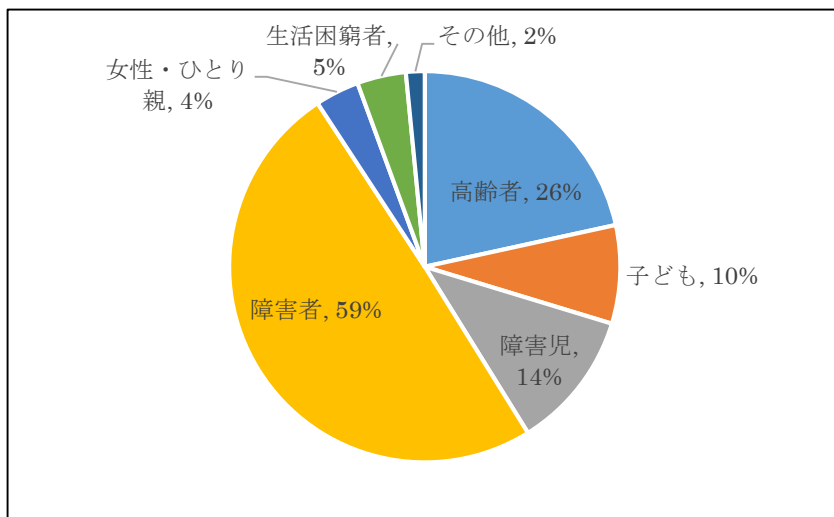
都民・企業・団体の皆様の「社会のために何かをしたい」という善意を活かすために、昭和39年に設立され、平成17年度より社会福祉法人東京都社会福祉協議会において運営しています。

現金、物品、催物の招待券などの寄附を受け入れ、寄附者の意向や施設の希望に合うよう調整し都内福祉施設に配分しています。

1 調査の概要

- 目的 配分の実施にあたり、福祉施設の要望等を把握し、施設への寄附の案内や寄附者への情報提供に活用するため
- 対象 東京善意銀行に登録している2,468施設
- 調査期間 令和4年8月1日～令和4年9月30日
- 調査方法 オンラインフォーム、郵送
- 回答率（回答数） 61.7%（1,523施設）

<回答施設の事業分野>

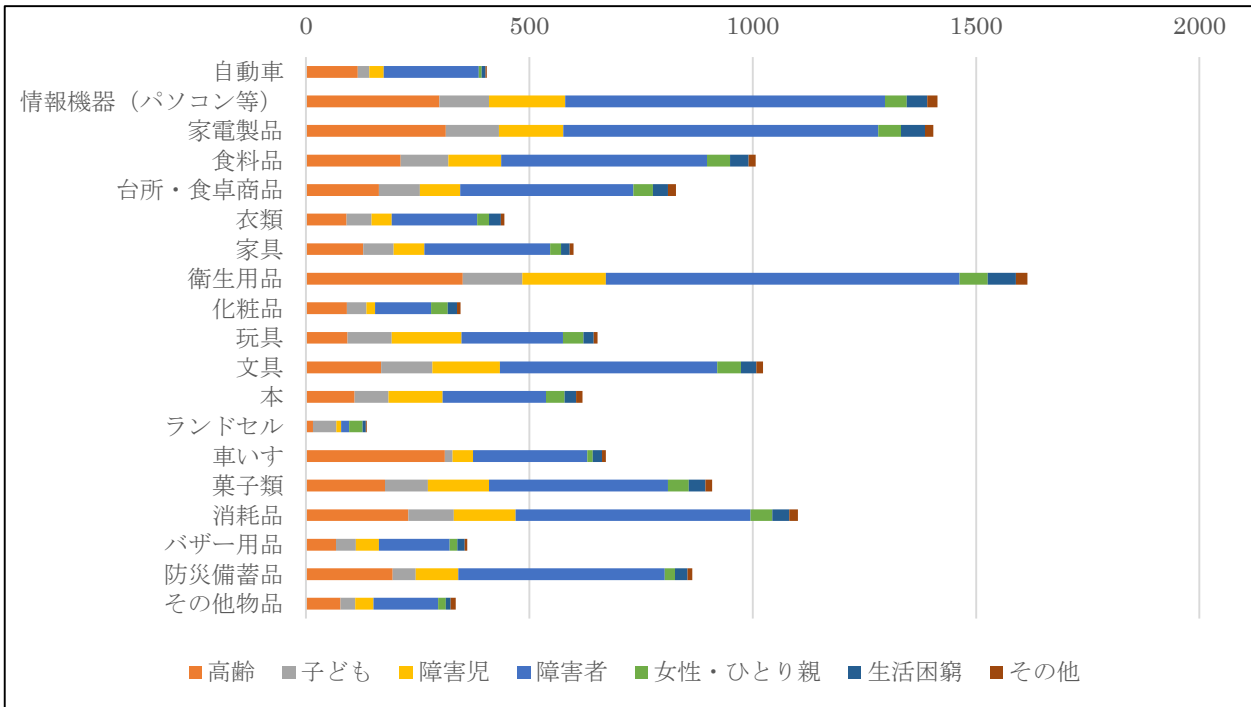


【主な施設】

- （高齢者）特別養護老人ホーム、デイサービス
- （子ども）児童養護施設、自立援助ホーム、乳児院
- （障害児）児童発達支援、放課後等デイサービス
- （障害者）就労継続支援、生活介護
- （女性・ひとり親）母子生活支援施設、婦人保護施設
- （生活困窮者）救護施設、無料定額宿泊所

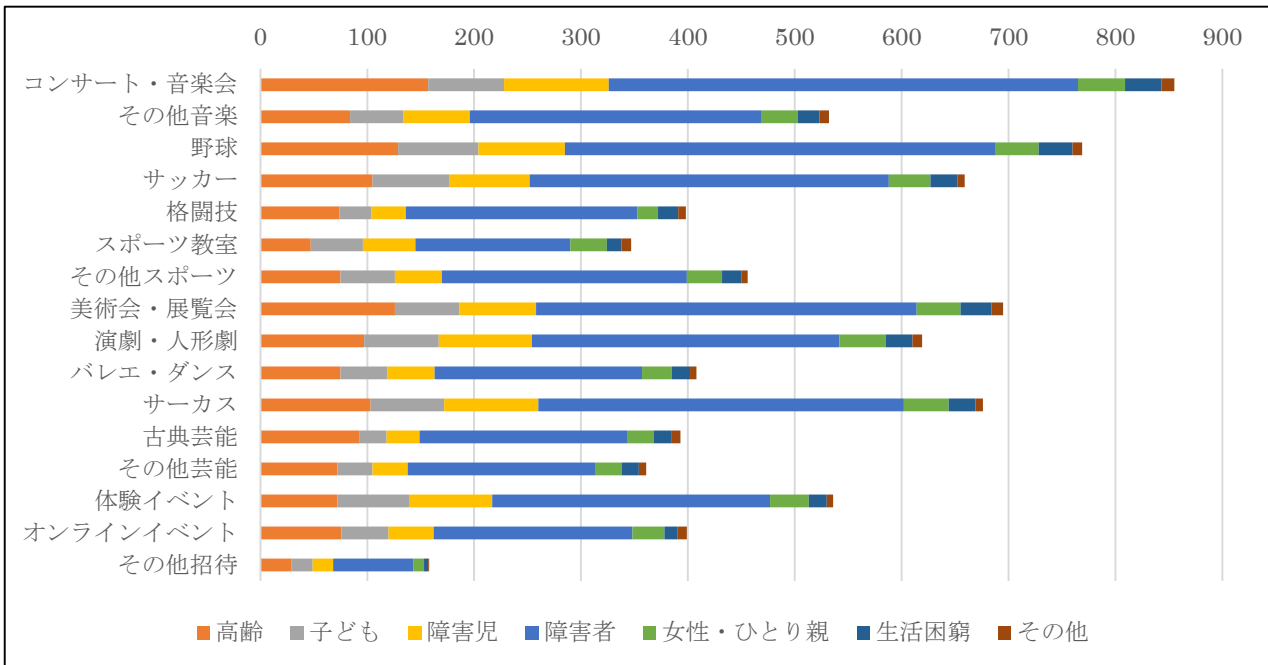
2 希望する物品寄附の種類・内容

全体で最も希望が多いのは、マスク・消毒液等の「衛生用品」で、すべての事業分野で第1位となっている。「家電製品」、パソコン・タブレット等の「情報機器」の希望も多い。



3 希望する招待寄附の種類・内容

全体で最も希望が多いのは、「コンサート・音楽会」である。「野球」や「美術会・展覧会」の希望も多い。



令和3年度にいただいた寄附で、施設への配分数が多いものを紹介します。

物品寄附：①衛生用品、②食料品、③文具

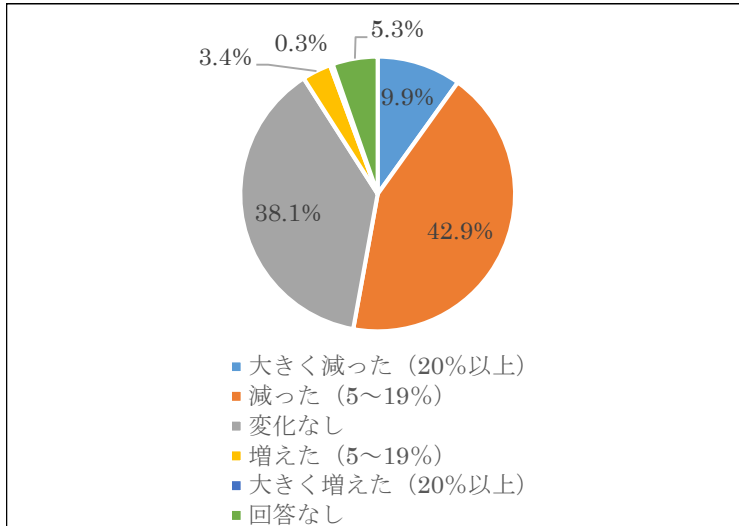
招待寄附：①野球、②美術会・展覧会、③コンサート・音楽会

施設の希望とも一致しており、多くの施設に寄附をつなげることができました。



4 コロナ禍における施設の収益状況等について

(1) 事業所の年間収益(コロナ感染拡大前と比較した令和3年度の状況)



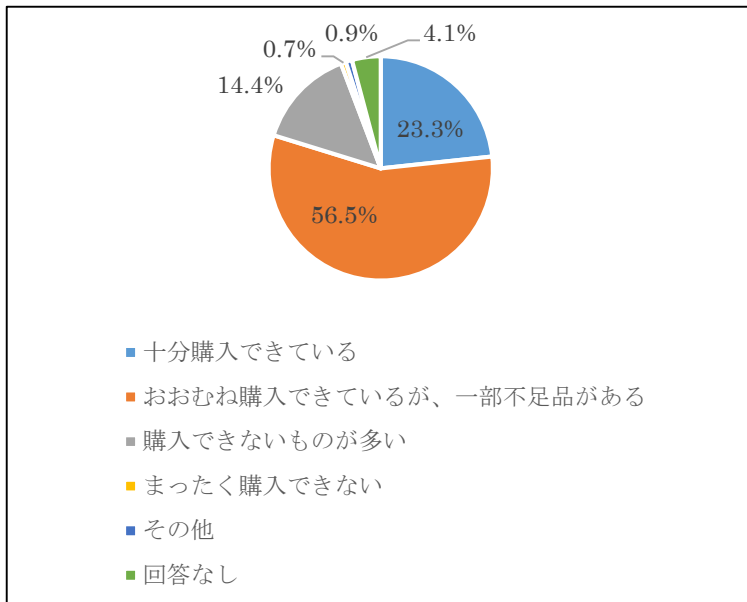
全体では、「減った (5~19%)」と回答した施設が最も多く、次いで「変化なし」である。

事業内容別では、高齢者、障害児、障害者で「減った」と回答している割合が高い。

特に障害児で「大きく減った (20%以上)」が約2割、高齢者で「減った (5~19%)」が約6割の回答となっている。

(2) 必需品(※)以外の「利用者の生活や活動の質を高める物品」の購入状況

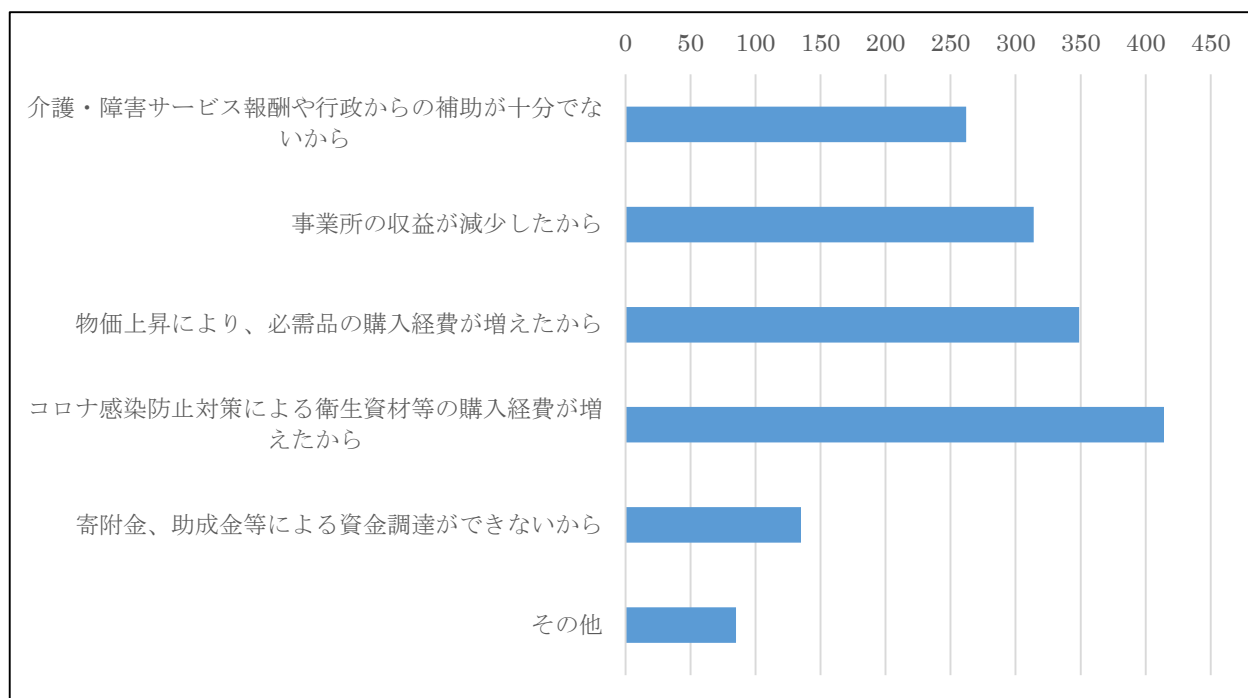
(※) 調査上では、必需品を「事業を行う上で必ず購入しなければならない物品」とした。



全体では、「おおむね購入できているが、一部不足品がある」と回答した施設が半数以上ある。

事業内容別では、女性・ひとり親や生活困窮者で「十分購入できている」と回答した割合がやや高くなっている。一方、高齢者は、「購入できないものが多い」と回答した割合が他と比べ高い。

(3) 購入できていない場合、影響が大きいと考える原因（複数回答）



全体の回答数は、「コロナ感染防止対策による衛生資材等の購入経費が増えたから」「物価上昇により、必需品の購入経費が増えたから」「事業所の収益が減少したから」の順で多くなっている。

施設の回答からは、コロナ禍の影響が続き、さらに物価上昇の影響も加わり、事業を行う上で必ず必要な物品（必需品）の経費支出が増えたことにより、施設の支援をより良くするために必要な「利用者の生活や活動の質を高める物品」が十分に購入できていない状況がうかがえます。

東京善意銀行では、皆様からいただいた「現金寄附」を助成金として、施設が希望する物品の購入用にお届けしています。

厳しい収益状況である福祉施設の一助となり、施設利用者に対する支援をより良いものにすることができるよう、東京善意銀行では引き続き「現金寄附」の協力者を増やせるよう、取り組んでまいります。

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京善意銀行

〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 3 階

(電話) 03-5283-6890 (FAX) 03-5283-6997

(メール) zengin@tcs.w.tvac.or.jp



善銀キャラクター
ともしびちゃん